

## 第 28 回 FEIAP 総会参加報告

### 1. FEIAP(アジア・太平洋技術者協会連盟)の概要

FEIAPは、当該地域のエコミー(国あるいは地域といった単一経済体)に所属する技術士会相当機関(日本代表は日本技術士会)の集合体である。ASEAN 諸国を中心に周辺エコミーである日本、韓国、台湾、中国、オーストラリア、アフリカ諸国、太平洋諸国の一部も含み、毎年2回(GA:総会と EXCO Meeting:執行委員会)が開催される。FEIAPとは別に、CAFEO(ASEAN 技術者協会連盟国際会議)という ASEAN 諸国における技術者全体の会議があるが、ASEAN 諸国以外のエコミーにも開放されているため、参加エコミーは FEIAP とほぼ同一である。そのため、通常 EXCO Meeting は、CAFEO 開催期間中に Session の一部として実施される。

なお、今回の総会はミャンマーのネピドーで開催予定であったが、世界的なコロナ禍の影響によりオンライン(Zoom meeting)での開催に変更となった

### 2. FEIAP 総会への出席目的

日本は、2004年1月に日本工学会から日本代表として技術者資格を代表する団体である日本技術士会に FEIAP 加盟を譲りたいとの申し出があり、2004年5月に開催された FEIAP 第1回執行委員会にて加盟が承認された。以後、日本技術士会は、執行委員会メンバーとして選出された年度以外の年も、常設への出席のために毎年参加している。日本が FEIAP に日本技術士会が参加することは加盟各国と正式交流が可能となり、周辺エコミーとの人的および技術情動的交流の場が提供される機会となっている。また、工学教育の認定に関する諸外国の取り組みや連携に関する動向を確認する機会でもあり、総会に出席することで技術士会にこれらの地域の最近の情報や動向を収集することは、技術士会および当該地域で活躍される技術士の方の活動に役立つとともに、これらの活動を通じて技術士会はこの地域における周辺エコミーに対して支援・協力を行うことを目的としている

### 3. 第 28 回 FEIAP 総会の概要

執行委員会では、前回議事録の確認(総会(2019/6、西安)、執行委員会(2019/11、オーストラリア))、会員動向(現会員:26エコミー(正会員)、2エコミー(Associate 会員)、中央アジアやトルコに対して新会員として招聘中、BAST(北京科学技術協)の準会員として入会)等が確認された。また、COVID 19 の FEIAP に対する影響について議論し今後の FEIAP の運営に供することが確認された。続いて2019年1月1日から12月31日までの会計報告があり承認された。その後、空席だった2席の理事選挙がありタイとルワンダの2エコミーが選出された。

日時 : 2020年7月25日(土)21:00~23:30(日本時間)

場所 : Online platform (zoom meeting)

参加者:鈴木久尚

常設委員会は総会の開催前の4日間の日程で下記のとおり開催された。いずれも Online platform による会議であった。このうち①~④は山口、①~③は鈴木がそれぞれ出席した。

- ① 7月21日(火) 常設委員会 (自然災害と対策: Natural Disaster and Preparedness)
- ② 7月22日(水) 常設委員会 (環境エンジニアリング: Enviromental Engineering)
- ③ 7月23日(木) 常設委員会 (情報およびコミュニケーション技術: Information and ommunication technologies)
- ④ 7月24日(金) 常設委員会 (技術者教育: Engineering Education)

### 4. 所感

東南アジアでは技術者の相互認証も始まろうとしており、FEIAP 参加をとおして日本技術士会がさらに国際化を図り、技術者の海外活動で周辺エコミーに対して支援していくことはこれからますます重要になっていくものと考えられる。

以上